

取扱説明書

工事説明書別添付



ビーバー 空調換気扇

居室用

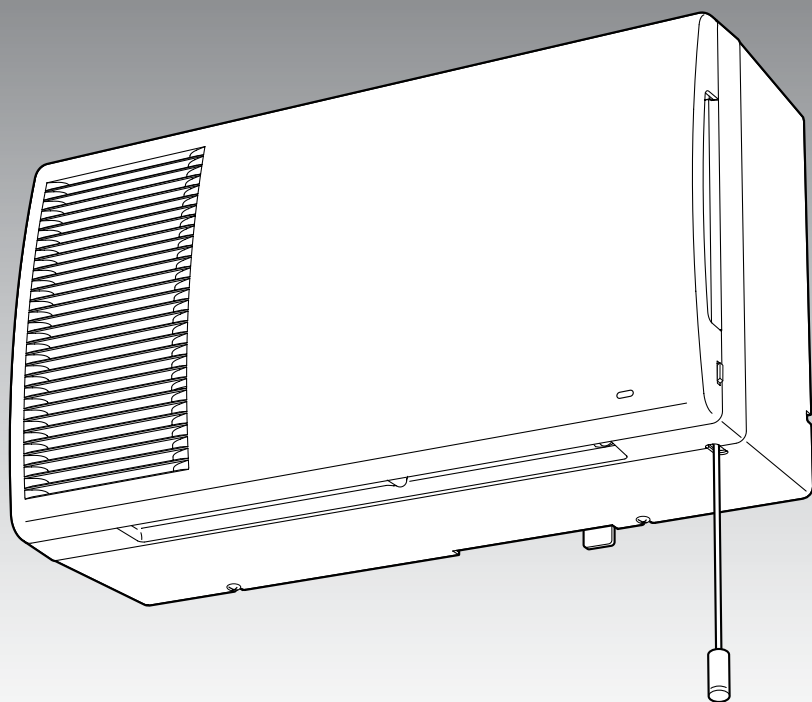
品番

HR173

(シャッター付)

HR173-SN

(シャッターなし)



イラストはHR173を示します。

このたびは「ビーバー空調換気扇」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～3ページ)を必ずお読みください。
- 取扱説明書は大切に保管してください。

・この取扱説明書に記載されていない方法で使用され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

もくじ

安全上のご注意	2～3
各部の名前とはたらき	4
使いかた	5
お手入れのしかた	6～9
お客様ご相談窓口のご案内	10
アフターサービス	11
仕様	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

■絶対に分解したり修理・改造しない



分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。

- 修理はお買い上げの販売店・工事店またはこの説明書に記載の「修理受付窓口」へご相談ください。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

感電やけがをすることがあります。

■電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、引っ張ったりしない)



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■水につけたり、水や洗剤をかけたりしない(モーター、スイッチなどの電気部品)



水ぬれ禁止

ショートや感電のおそれがあります。

■電源プラグをぬれ手で抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電のおそれがあります。

■ガス漏れの場合は換気扇のスイッチを入れたり切ったりしない



禁止

スイッチ火花によりガス爆発の原因となります。



警告

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

- 電源プラグのホコリなどは定期的にふき取る



電源プラグにホコリなどがたまると湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



注意

- 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

- 部品は確実に取り付ける



落下により、けがをするおそれがあります。

- お手入れの際は、ゴム手袋を使用する



板金・樹脂部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

- 運転中は羽根の中に指や物を入れない



接触禁止

けがのおそれがあります。

- 本体が、しっかり取り付けられているか、確認する



落下により、けがをするおそれがあります。

- 電源コードを引っ張ってプラグを抜かない



禁止

プラグを持って抜かないとコードが傷み、ショートや発火することがあります。

お願い

- 高温(40℃以上)になる場所で使わないでください。

製品の変形やモーターの寿命を縮める原因となります。

- 台所など、油煙の発生する場所や有機溶剤がかかる場所で使わないでください。

ルーバーなどの破損の原因となります。

各部の名前とはたらき

品番および経年劣化に係る
注意喚起のための表示位置

お願い

品番をご確認ください。

(修理依頼などのアフターサービスを
ご利用の際に、品番が必要になります)

経年劣化に係る注意喚起
のための表示位置

熱交換素子

外気を室温に近づ
けて給気します。

排気フィルター

熱交換素子や本体内部に
入る大きなホコリを取り
除きます。

スピナー
羽根

ロック端子

ルーバーを固定
します。

給気清浄フィルター

室内に入る花粉やホコリを
取り除きます。

ケーシング

本体

品番表示位置

エレメントケース

シャッター

運転停止時、雨水などの
浸入を防止します。
(HR173のみ)

シャッターレバー

シャッターを開閉
します。
(HR173のみ)

切換スイッチ

運転ランプ表示窓

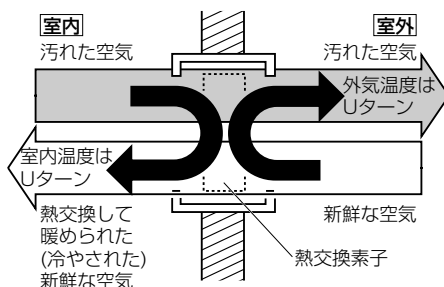
コンセント

電源プラグ

イラストはHR173を示します。

熱交換換気とは

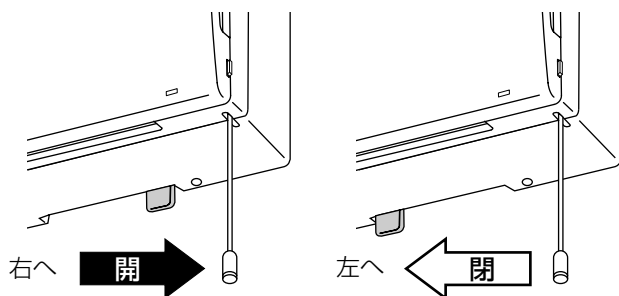
室内の汚れた空気と室外の新鮮な空気を入れ
換えします。そのとき、外気を室温に近づ
けて取り入れるので、冷暖房時でも、室温の急
激な変化が防止でき、快適な換気ができます。



使いかた

■換気扇を運転するまえに、シャッターレバーが開の位置になっていることを、ご確認ください。(HR173の場合)

■シャッターの操作 (HR173の場合)

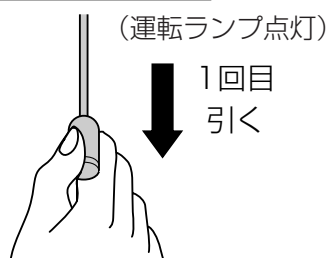


お願い

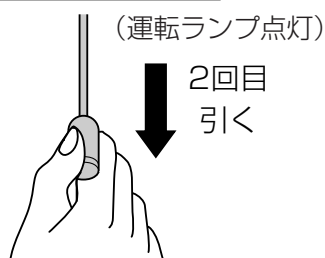
- ※台風・吹雪などのときは、雨・雪の浸入防止、また冬場の冷氣浸入防止のためにシャッターレバーを閉まで確実に操作してシャッターを完全に閉じてください。(換気扇は停止します)
- ※特に寒い時や、室内湿度が高い時は、運転時に本体表面や内部に結露が発生することがありますので布などでふきとってください。
- ※シャッターレバー操作時には、確実に開・閉位置まで操作してください。シャッターが完全に開いていないと換気できません。

■切換スイッチの操作

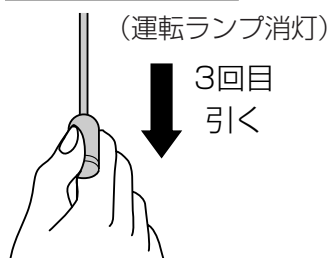
強運転します



弱運転します



停止します

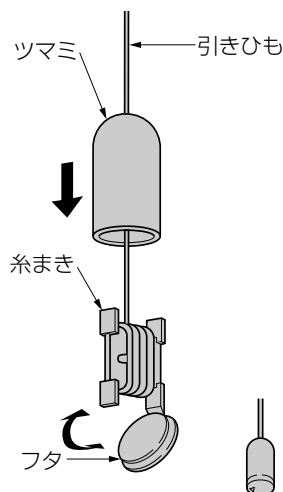


※切換スイッチはゆっくり確実に引いてください。

■引きひもの巻き取り

引きひもが他の操作の迷惑になる場合に長さを調節します。

- ①フタを開ける。
(△マークの所から開けます。)
- ②フタを引っ張る。ツマミの中の糸まきを引き出し余分な引きひもを糸まきに巻きつける。
- ③ツマミを押し下げ糸まきをツマミの中に挿入する。
- ④フタを閉じる。



お願い

※引きひもを長くしてお使いの場合は、糸まきに2〜3巻残して調節してください。

お手入れのしかた (半年に1回程度)

⚠ 警告

■お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグ
を抜く

感電やけがをすることがあります。

⚠ 注意

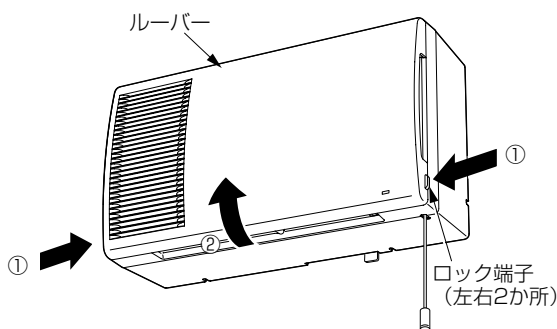
■お手入れの際は、ゴム手袋を使用する



板金・樹脂部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

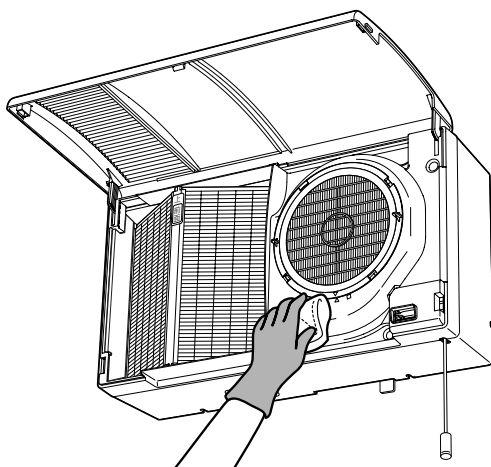
■ルーバーの開きかた

- ①ロック端子(2か所)を押しながら、
- ②手前に引いて、ルーバーが固定されるまで押し上げる。



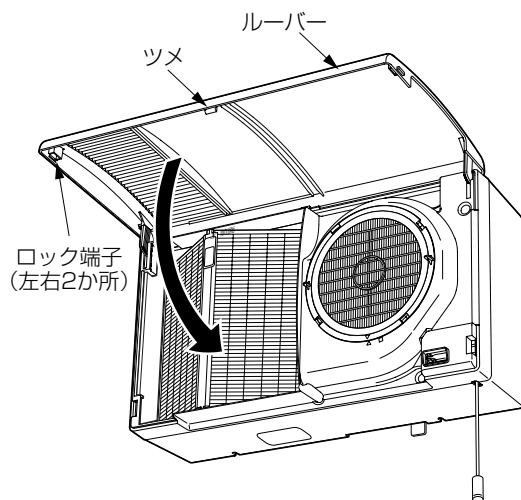
■汚れをとる

- 水または台所用中性洗剤に浸した布でふきとる。



■ルーバーの閉じかた

- ルーバーをゆっくりおろし、「カチッ」というまで確実に取り付ける。



お願い

- ※ロック端子(左右2か所)およびツメ(中央)を確実に固定してください。

お願い

※高い所での作業となりますので足場には十分お気を付けください。

※お手入れ後、熱による乾燥はしないでください。

変形、変質の原因となります。

※台所用中性洗剤をお使いください。

住宅用、家具用アルカリ性合成洗剤などは樹脂部の変色、破損のおそれがあります。



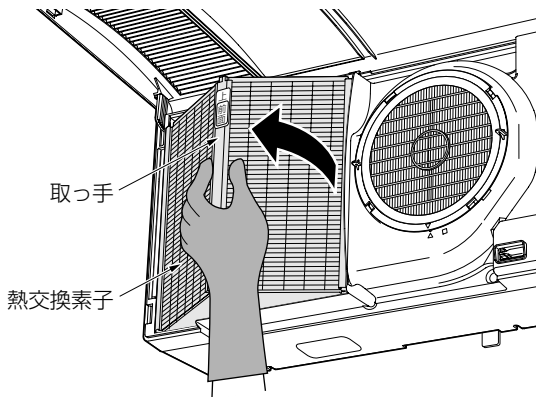
禁止

下記のものは
使用しないでください。



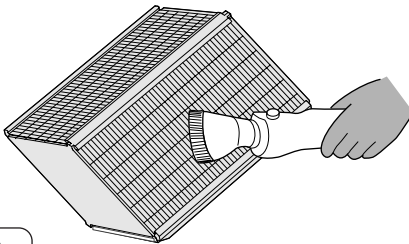
■はずしかた

- ①ルーバーを開く。(6ページ参照)
- ②熱交換素子の取っ手を持ち、
- ③右側から手前に引いてはずす。



■汚れをとる

- 掃除機で、表面のゴミ・ホコリを吸い取る。
(素子の目をつぶさないように！)



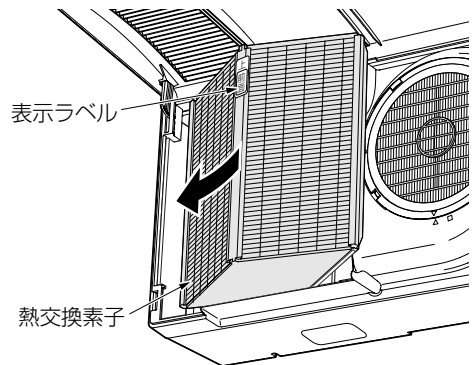
お願い

※熱交換素子は水洗いをしないでください。
機能低下の原因となります。

※お手入れのときケーシングや熱交換素子に掃除機のノズルなどを強くあてると割れるおそれがありますのでご注意ください。

■取り付けかた

- 熱交換素子の表示ラベルが室内側上方になる向きで、左側から本体に差し込んで取り付ける。

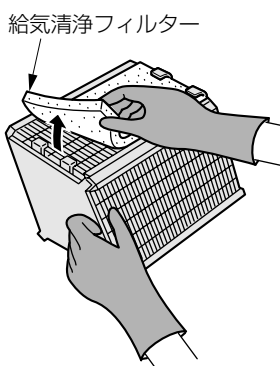


お手入れのしかた (続き)

給気清浄フィルター

■はずしかた

- ①ルーバーと熱交換素子をはずす。
(6～7ページ参照)
- ②給気清浄フィルターを取り出す。



■汚れをとる

- 掃除機で表面のゴミ、ホコリなどを吸い取る。

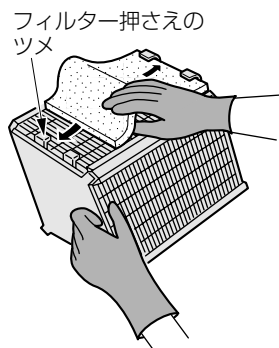
●汚れがひどい場合

- ①台所用中性洗剤を入れたぬるま湯に浸し、押し洗いを。
(もみ洗いはしないでください。
縮むことがあります。)
- ②自然乾燥させる。
(熱による乾燥はしないでください。
変形・変質の原因となります。)



■取り付けかた

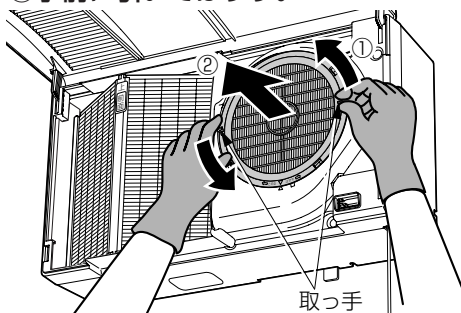
- 給気清浄フィルターをフィルター押さえのツメの内側に入れる。
- 給気清浄フィルターは「内側」の表示を素子側にして取り付ける。



排気フィルター

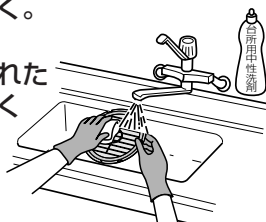
■はずしかた

- ①取っ手を持ち、「はずす」の方向にまわす。
- ②手前に引いてはずす。



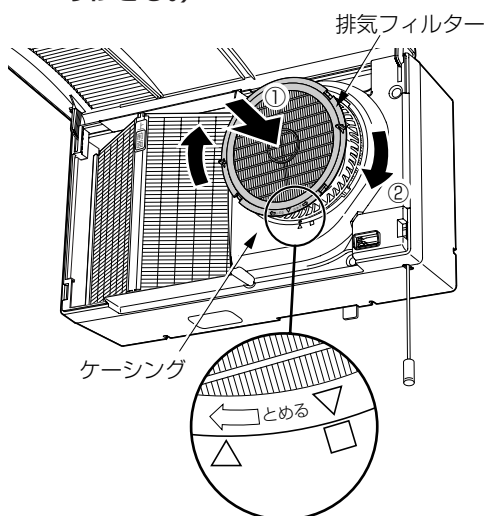
■汚れをとる

- 掃除機で表面のゴミ、ホコリなどを吸い取る。
または、軽く手ではたく。
- 汚れがひどい場合
 - ①台所用中性洗剤を入れたぬるま湯に浸し、よく水洗いする。
 - ②自然乾燥させる。



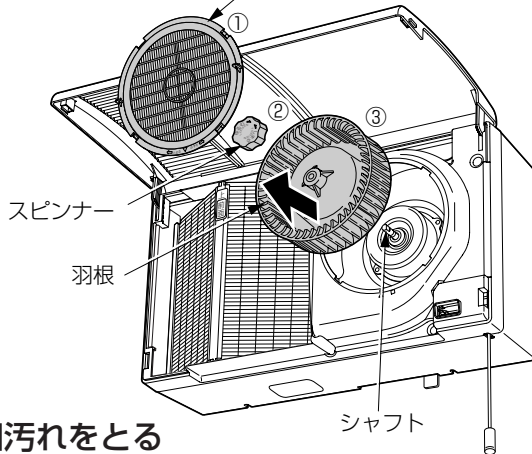
■取り付けかた

- ①排気フィルターの▽マークと、ケーシングの□マークをあわせる。
- ②「とめる」の方向にまわして固定する。(▽マークと、△マークをあわせる。)



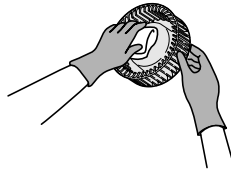
■はずしかた

- ①排気フィルターをはずす。(8ページ参照)
- ②スピナーをはずす。
- ③羽根をはずす。 排気フィルター



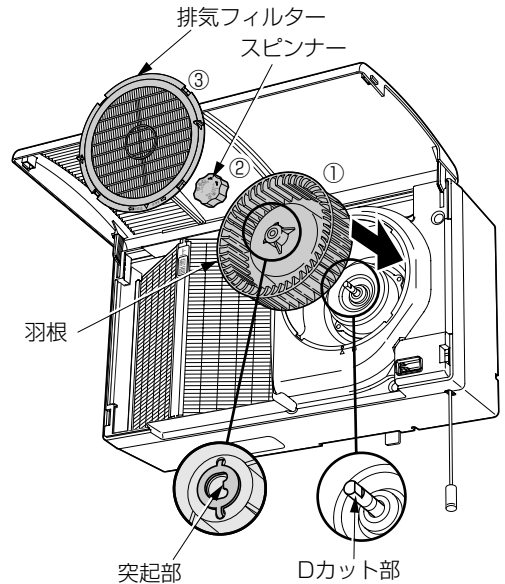
■汚れをとる

- 掃除機で表面のゴミ、ホコリなどを吸い取る。
または、軽く手ではたく。
- 汚れがひどい場合
 - ①水または台所用中性洗剤に浸した布でふきとる。
 - ②自然乾燥させる。
水けが残ると、シャフトがさびて羽根が抜けなくなります。



■取り付けかた

- ①羽根の金具の突起部を、シャフトのDカット部にあわせるように取り付ける。
- ②スピナーを締める。
- ③排気フィルターを取り付ける。
(8ページ参照)



お客様ご相談窓口のご案内

◇修理のご依頼、お取り扱い・お手入れなどのご相談はまず**お買い上げの販売店**までお問い合わせください。

◇転居やその他の理由でお買い上げの販売店にご相談できない場合の修理のご依頼は「**修理受付窓口**」へどうぞ。

フリー コール 急 な ご 用 も 3 6 5 日
修理受付窓口 全国共通 0120-975-365
24時間365日受付（一部地域をのぞく）

◇ご購入についてのご相談、お取り扱い方法・お手入れ方法についてのお問い合わせは「**お買物相談室**」へどうぞ。

フリーコール ハイ ジュウコウサンキュー
ビーバーエアコンお買物相談室 0120-81-1539
受付時間 平日（月曜日～金曜日）
9：00～12：00
13：00～17：00

アフターサービス

愛情点検		長年ご使用の空調換気扇の点検を！	
	このような症状はありませんか	• スイッチを入れても回転音が不規則に聞こえたり回転しない。 • 運転中に異常音がしたり振動がある。 • 異臭がする。 • その他、異常を感じる。	ご使用中止
	このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店または工事店に点検・修理を依頼してください。		

1.補修用性能部品の最低保有期間

当社は、この空調換気扇の補修用性能部品の、製造打ち切り後6年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

2.修理などアフターサービスについておわかりにならないとき

お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

仕様

定格：単相100V, 50/60Hz

品番	風量調節	消費電力(W)	換気風量(m³/h)	騒音(dB)	熱交換率(%)	質量(kg)
HR173	強	29/34	105/105	38.5/38.5	72/72	7.4
	弱	20.5/20.5	65/60	28/27.5	76/76	
HR173-SN	強	29/34	105/105	38.5/38.5	72/72	7.3
	弱	20.5/20.5	65/60	28/27.5	76/76	

上記仕様は静圧 0 Pa (パスカル) 時の値です。

静圧 0 Pa (パスカル) とは、空調換気扇におよぼす圧力が「0 (ゼロ)」の状態を示します。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体に起こっています。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。
 【設計上の標準使用期間】15年
 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
 ※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件 日本電機工業会自主基準 HD-116-4 による

環境条件	電圧	単相100Vまたは単相200V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hzまたは / および60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の工事説明書による
負荷条件	定格負荷 (換気量)		機器の取扱説明書による
	想定時間	1年間の換気時間 ^{a)}	
	使用時間	台所 2410時間/年	
		居室 2193時間/年	
		トイレ 2614時間/年	
		浴室 1671時間/年	

注^{a)} 常時換気 (24時間連続換気) のものは、8760時間/年とする。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ年月日	年 月 日	品番	
お買い上げ販売店 (工事店名)	電話 ()	—	
お客様ご相談窓口	電話 ()	—	



三菱重工業株式会社

三菱重工業 (株) 冷熱事業本部 愛知県清須市西枇杷島町旭三丁目1番地
 三菱重工空調システム (株) 東京都品川区西五反田7-25-5